

1. 受験は自立への第一歩

目標を決め、計画を立て、努力をし、自分の限界に挑戦する⇒自分の筋を通させる、自立する力  
子供の受験を通して親も成長する

2. 受験までのスケジュール

I. 5月～7月<受験体制を確立する時期>

部活引退から受験へ or 部活動と受験勉強の両立  
規則正しい生活（寝る時間、起きる時間、食事の時間）  
使い慣れた教材の反復による入試基礎の整理  
高い目標設定「現役生は受験当日の朝まで伸びる」

II. 夏休み<受験の天王山>

計画的な学習・・・学習計画表の作成  
夏期講習の開講（5月中旬講座内容提示）  
模試の解き直し  
苦手科目の克服  
オープンキャンパスの参加も

III. 秋<精神的に苦しい時期（生徒、保護者共に）>

夏休みの成果はすぐには出ない  
志望を下げない  
演習中心の勉強、2次・個別試験対策を中心に（11月からセンター対策も）

IV. 直前期<現役生が本当に伸びる時期>

毎日規則正しい生活「遅刻しない」  
過去問演習中心  
添削を受け、得点できる答案を作る練習

【保護者の頑張りどころ】

8月  
保護者の気持ちが折れる①  
3教科シフト、推薦シフト  
AOシフト、志望校ダウン

12月  
保護者の気持ちが折れる②  
受かればどこでもいいんじゃない  
私大安全校ばかり増える

3. 模試は最良の予想問題

「勉強していないから受けない」ではなく「今の実力・弱点の把握をする」  
3年の模試は、浪人生も受ける⇒現役生の判定は下がる  
<判定の読み方>  
A判定・・・安心するな、B判定・・・ボーダーライン、C判定・・・しめた、チャレンジせよ  
D判定・・・大丈夫、E判定・・・いい判定、いける

全員模試 5月、8月：河合全統記述 10月：駿台・ベネッセ記述  
11月：駿台・ベネッセマーク

4. 安易に予備校、塾に頼らない

一人で長時間、問題と向き合うことが実力向上のカギ  
問題が解けるまでのプロセス



学習マラソンで10時間勉強体験を（7/13～15、10/12、13の2回）

5. AO, 推薦入試について

昨年の指定校推薦は今年度あるとは限らない  
最初からAO, 推薦と決めて受験体制を作らない（早く楽になりたいという誘惑を振り払う）  
本当に入学したい大学、学部（一般入試がだめだった時の保険ではない）  
指定校・公募制推薦等（学校長の推薦が必要なもの）は夏休み明け推薦説明会の出席が必須（公正公平な校内選考を行うため）

6. 受験生の本音

金銭面で協力してほしい  
家の中では静かにしてほしい  
時々励ましてほしい  
自分の進路を尊重してほしい  
精神面でサポートしてほしい  
普段通りでいい  
食事を準備してほしい

7. 保護者の本音

この子だけは失敗させたくない、志望が高いのはいいけれど・・・  
辛い思いをするくらいならば、そこそこでいいじゃない、難関大とか夢を見ないで・・・  
就職に有利ならば、どこでもいいじゃないの、国公立は科目が多いし、3教科に絞って私立で・・・  
こんな成績で受かるわけじゃない、「あの先輩」でも合格できなかったのに・・・  
→「もう無理」は保護者が決めない（自分の足でしっかり立って、社会に出ていく姿を見守る）

\*受験生ということで気を遣いすぎず、食事、健康管理に注意していただけたらと思います。朝は決まった時間に起き、規則正しい生活ができるようご注意ください。  
\*お子さんから相談があったときは、ゆっくり話を聞いてあげてください。細かすぎるアドバイスはマイナスに作用しがちです。ぐっと我慢です。（あせらず、あわてず、あきらめず 三ズの川の向こうに合格があります）